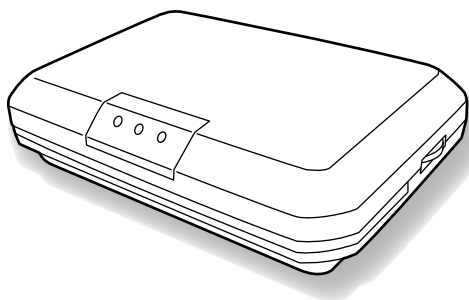


GPS レーダー FDR02

取扱説明書／保証書



この度はベストワンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

目次

ご使用上の注意	2	警報について	15
各部の名称	4	GPS 警報	15
製品本体	4	オービスポイント警報	
梱包内容	5	(GPS スピードガン info)	15
ご使用にあたって	6	N システム /NH システム警報	
GPS 機能について	6	(N/NH SYSTEM info)	17
データ更新について	7	チェックポイント警報	
取付け方法	8	(トラップポイント info)	18
取付けの前に	8	駐車監視エリア警報	
ダッシュボードへの取付け	9	(駐車エリア info)	18
ルームミラーへの取付け	9	レーダー	19
機能及び操作方法	10	カーロケ受信警報	20
電源を ON にする	10	取縮り用連絡無線警報 (350.1MHz)	22
テスト機能による音量調整と		パトロールエリア警報 (パトロールエリア info)	22
ミュート操作方法	11	取縮りの種類と方法	23
ASC 機能	12	レーダー式の取縮り	23
LSC 機能	12	レーダー式以外の取縮り	24
機能	13	その他	26
ディスプレイモード (販売店向け機能)	13	故障かな? と思ったら	26
オートボリュームダウン機能	13	製品仕様	26
オートディマー機能	14	保証規定	27
USB 電源	14	保証書	裏面

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品の USB コネクタを使い長時間充電等をする、接続機器によっては発熱することがあります。真夏の炎天下など車内温度が高い場合は特にご注意ください。

⚠ 注意

- 本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。（但し、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません。）
- 本製品の近くに他の GPS 機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- GPS 衛星の電波を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が動かない為、GPS による警報、表示、メモリー機能が正常に動きません。（トンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中等）

⚠ 注意

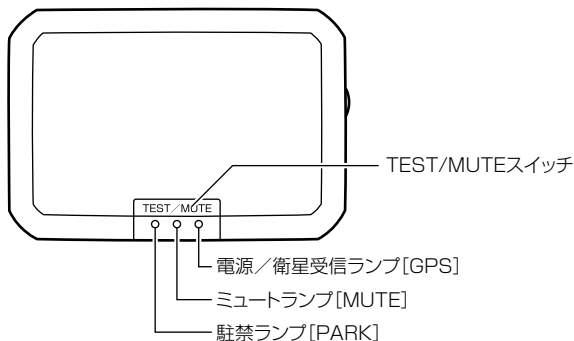
- 車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信（設定）していると、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離し、GPS 受信に影響のない衛星の受信箇所へ本製品を取付けてください。
- 本製品の受信機能は、製品仕様書に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 電源を分岐して使用している場合や車のバッテリーが劣化している場合等、電流が足りず電源が不安定になり本製品の電源が遮断されることがあります。
- 本製品の GPS 警報は、予め登録されたオービス・N システム・チェックポイントのみ有効です。
- 一部ナビゲーションシステム、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上波デジタルチューナーや衛星放送受信機等の車載電子機器で漏れ電波が取締り機と同じ周波数の場合、本製品のレーダー受信機能が受信することがあります。
- 取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で本製品のレーダー受信機能が受信することがありますが、誤動作ではありません。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部）
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS・レーダー波等の電波が受信できない場合があります。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
- 環境保護と資源の有効利用をはかる為、寿命となった本製品の回収を弊社にて行っています。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様及び、外観は改良の為、予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- 本製品は DC12V 車専用です。（DC24V 車へのお取付けはできません。）
- キーを OFF にした時、シガープラグの電源が 0V にならない車両（外車など）の車両バッテリーを保護する為、エンジンを始動していない時は必ずシガープラグコードを抜いて使用するか、弊社オプションの SS-063 電源配線ユニットでイグニッション電源に直接接続してください。

本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

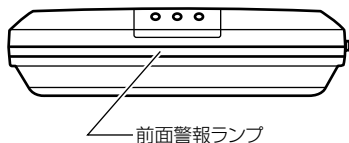
各部の名称

製品本体

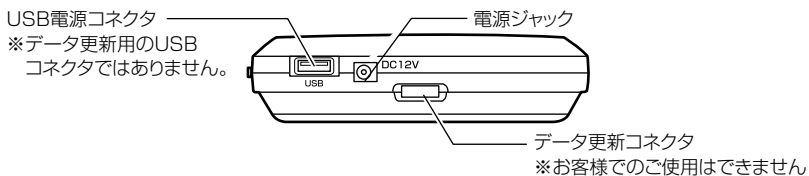
○上面



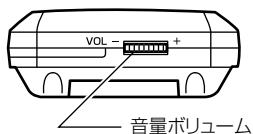
○正面



○背面

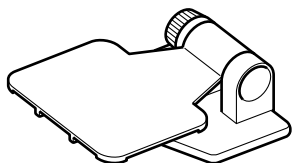


○側面

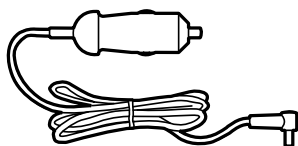


梱包内容

ステー



シガープラグコード



両面テープ (2枚)



※取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

ご使用にあたって

GPS 機能について

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GPS レシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してあるオービス・Nシステムのデータ（座標データ等）とを比較演算し、オービス・Nシステムに接近すると警報を行います。

● 衛星受信開始時間／受信復帰時間

GPS レシーバーの電源オンから衛星受信を行う迄の時間と走行中、トンネル・高架下・屋内等で一時的にGPS衛星が受信できない場所から受信できる場所へ移動した時、再受信する迄の時間。

（高架下等にオービスがある場合は衛星受信ができません、警報が行えない場合があります。注意してください。）

受信開始時間

衛星受信できない状態	衛星受信迄の復帰時間
10秒以下	2秒程度
10秒～60秒	5秒程度
60秒以上	10秒以上

受信復帰時間

前回、電源OFFしてからの時間	衛星受信迄の時間
～5時間	～10秒程度
～数日間	～1分程度
ご購入後又は、1ヶ月程度以上	～5分程度

※参考数値です。実際の使用される場所によっては時間が変わります。

● 衛星データ

本製品は、一旦GPS衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速める為です。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約50m程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS 衛星受信と車載テレビチューナー

車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信（設定）していると GPS 衛星を受信できない事があります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

データ更新について

本製品の登録データは最新バージョンへの書き換えが可能です。（有料）最新バージョンデータのリリースについては、販売店店頭・コムテックホームページにてお知らせ致します。

ホームページアドレスは <http://www.e-comtec.co.jp> です。

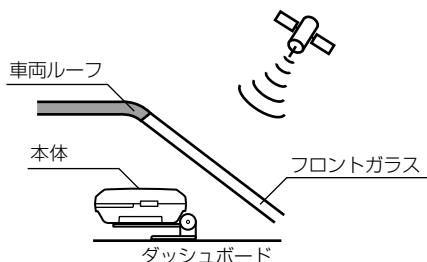
※ 今現在でも新たにオービス・N システムが増設されており、また調査箇所以外にもオービス・N システムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全の為、必ず法定速度内で走行してください。

取付け方法

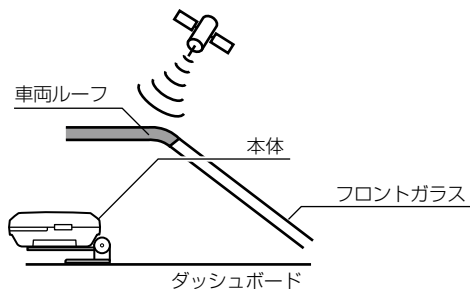
取付けの前に

- 運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグ等）に影響のない場所に取付けてください。
- GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付け位置には十分注意してください。
- 道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

○ 障害物がないので電波の受信ができる



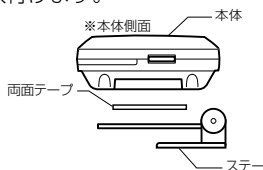
✕ 車両ルーフによって電波が受信できない



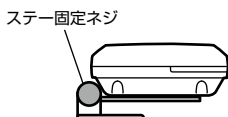
取付け方法

ダッシュボードへの取付け

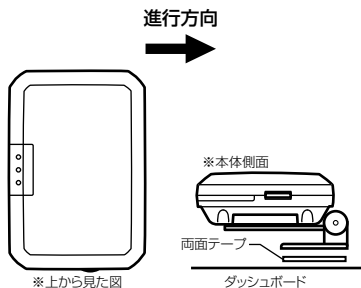
- 1** 本体とステーを付属の両面テープを使用して取付けます。



- 2** 地面と平行になるように角度を調整後、ステー固定ネジを手でしっかり締めます。



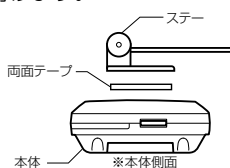
- 3** 付属の両面テープを使用してダッシュボードへ取付けます。レーダー受信部が車両進行方向に向くように取付けてください。



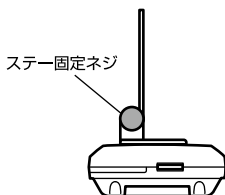
※ダッシュボードへ直で付ける場合は、本体底面に両面テープを貼り、しっかりと固定してください。
※取付け面のほこり・油分の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。

ルームミラーへの取付け

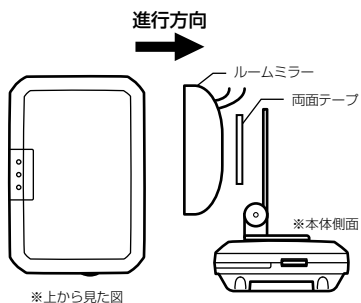
- 1** 本体とステーを付属の両面テープを使用して取付けます。



- 2** 地面と平行になるように角度を調整後、ステー固定ネジを手でしっかり締めます。



- 3** 付属の両面テープを使用してルームミラー裏へ取付けます。レーダー受信部が車両進行方向に向くように取付けてください。

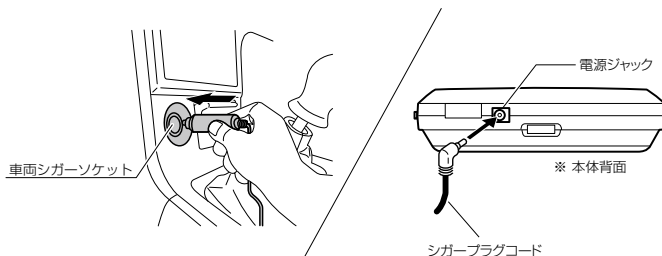


※取付け面のほこり・油分の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。

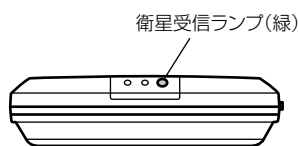
機能及び操作方法

電源を ON にする

- 1** 車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差し込み、次に本製品にシガープラグコードを接続します。



- 2** 衛星受信ランプが点滅します。



- 衛星を受信するまでの衛星受信ランプの光り方

衛星受信ランプ（緑）が点滅します。

- 電源を ON にして衛星受信ランプが点滅を開始してから約数秒～数分 (P6) で GPS 衛星を受信し、アナウンスを行い、衛星受信ランプが点灯します。

衛星を受信した時のアナウンス

「衛星を受信しました。」

- 電源が ON になり約 3 分間衛星を受信しなかった時、アナウンスを行い衛星受信ランプが点滅したままになります。

衛星を受信できなかった時のアナウンス

「衛星を受信できません。」

●衛星受信ランプの状態

ランプ	受信状態
点灯	3 基以上の衛星を受信
点滅	衛星の正確な受信ができていない

- ※本製品が正確な測位計測を行う為には、3 基以上の衛星を受信する必要があります。受信衛星数が 2 基以下の場合は、全ての GPS 機能は作動しません。

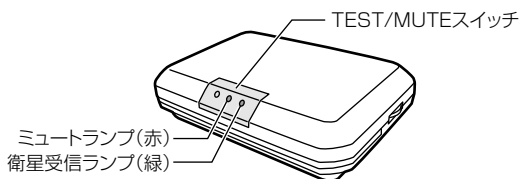
■ テスト機能による音量調整とミュート操作方法

● TEST/MUTE スイッチとは…

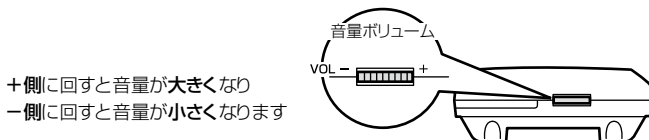
本製品がどのような警告をするのかを確認できるテストモードと、受信中の警告音を消すミュート機能を兼用したスイッチです。

■ テスト機能を使用する

- 1** 電源を ON にして衛星受信ランプの点灯、又は点滅を確認してから TEST/MUTE スイッチを押します。



- 2** テスト動作を行いますので、その間に音量ボリュームで適度な音量に調整してください。



■ ミュート（消音）機能を使用する

警報中、TEST/MUTE スイッチを押すと警報音を消音しミュートランプ（赤）が点灯します。ミュート状態は、その時受信している電波がなくなると自動的に待機状態に戻ります。

機能及び操作方法

ASC 機能

● ASC とは…

オート・センシティブ・コントロールの略称で、GPS 機能を使用して算出した自車の走行速度にあわせて適切なレーダー受信感度を自動で設定する機能です。

受信感度	走行速度
LOW (ロー)	50km/h 未満
HI (ハイ)	50km/h 以上

※ GPS 衛星の受信が行えない場合は、受信感度 HI (ハイ) に固定されます。

LSC 機能

● LSC とは…

ロー・スピード・キャンセルの略称で、GPS 機能を使用して算出した自車の走行速度が 20Km/h 以下の場合、警報中でも LSC 機能が作動して警報音をカットします。

※ GPS 衛星を受信できない場合は、自動的に LSC 機能が解除されます。

◇ 警報時の LSC 機能の動作

○ GPS 衛星受信時

状態	ミュートランプ (赤)	警報音
停車中～ 20Km/h	点灯	しない
20Km/h 以上	消灯	する

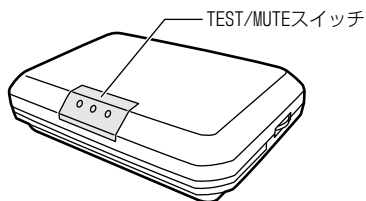
○ GPS 衛星未受信時

状態	ミュートランプ (赤)	警報音
停車中	消灯	する
走行中		

ディスプレイモード（販売店向け機能）

本製品の一連の動きをデモンストレーションします。
本製品をディスプレイとして使用する場合等に設定を行ってください。

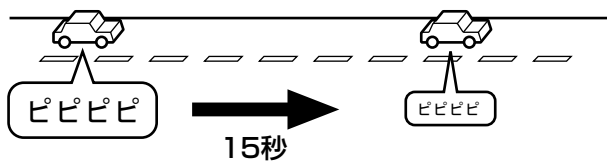
- 1 TEST/MUTE スイッチを押しながらシガーコードを接続します。



※ 再度同じ操作を行うとディスプレイモードは解除されます。同じ操作を行わない限りディスプレイモードは解除されません。

オートボリュームダウン機能

レーダー波を受信してから（警報開始から）約 15 秒後に自動で警報音量を小さくします。



オートディマー機能

GPS 情報によって自動的に各ランプの光量を 2 段階で自動調整します。

◇ GPS 情報を利用した場合のオートディマー

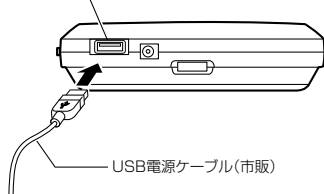
GPS 衛星による日時データを利用して調整します。

時 期	オートディマー作動時刻	点灯表示
3月～5月	18:00～5:00	減光点灯
6月～8月	19:00～4:00	
9月～11月	18:00～5:00	
12月～2月	17:00～6:00	
すべての月	上記以外の時間	通常点灯

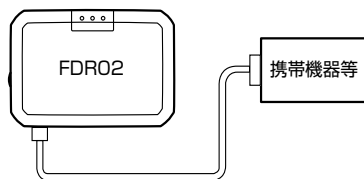
USB 電源

USB コネクタから電源供給 (5v・300mA 以下) することができます。携帯機器等の充電などにお使いください。

USBコネクタ



◇ USB 接続例



※ 本製品の USB コネクタを使い長時間充電等をする、接続機器によっては発熱することがあります。真夏の炎天下など車内温度が高い場合は特にご注意ください。

※ 本製品に電源が入っていないと電源供給はできません。

※ USB 電源ケーブルは付属していませんので、別途市販品等をご用意ください。

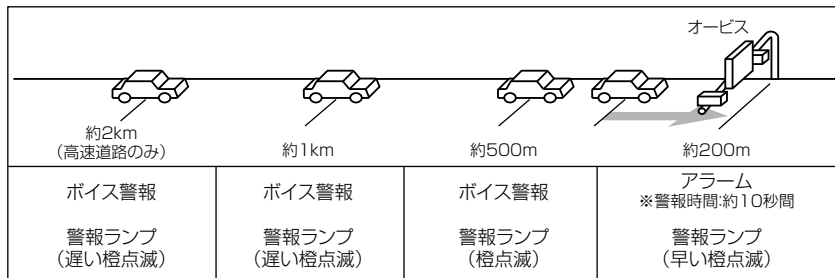
GPS 警報

■オービスポイント警報 (GPS スピードガン info)

オービスポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

◇**警報を行う距離** (注) GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。



※ 約 2km 地点での警報は、高速道路上のポイントのみ行います。

警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くの平行する道路等を走行中の時も警報を行う場合があります。

◇オービス警報の内容

オービス種類	ボイス内容 ※（ ）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。
ループコイル／光電管	効果音、約（※1）先（※2）上 ループコイル があります。 時速は約（※3）キロです。（※5）
LHシステム	効果音、約（※1）先（※2）上 LHシステム があります。 時速は約（※3）キロです。（※5）
Hシステム	効果音、約（※1）先（※2）上 Hシステム があります。 時速は約（※3）キロです。（※5）
レーダー	効果音、約（※1）先（※2）上 レーダー があります。 時速は約（※3）キロです。（※5）
トンネル出口付近	効果音、（※2）上 トンネル出口（※4） があります。 時速は約（※3）キロです。

- ※1 2キロ、1キロ、500mいずれかをアナウンスします。2キロは高速道路のみ
- ※2 高速道路、一般道路のいずれかをアナウンスします。
- ※3 アナウンスを始めた時の時速を約10Km単位(四捨五入)でアナウンスします。190Km以上は「190キロ以上です」とアナウンスします。
- ※4 取締機の種類をアナウンスします。
- ※5 500mの警報の場合、カメラは（右側／左側／正面）です。（カメラ方向が不明の場合はアナウンスしません。）

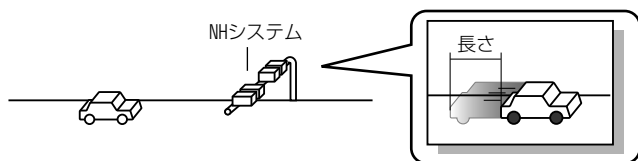
⚠ 注意

※3のアナウンスの時速はアナウンスした時の時速ですので、現在の走行している時速（車両側時速）とは異なる場合があります。

■ N システム /NH システム警報 (N/NH SYSTEM info)

● NH システムとは…

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



◇ N システム /NH システムポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上の N システム / NH システムへの警報は行いません。

警報を行う距離



警報音	ボイス警報
前面警報ランプ	橙点滅

※ 警報を行う距離は、対象とする N システム / NH システムからの直線距離です。道路の高低差カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

警報の内容

※ 本製品は、NH システムを N システムとして警報を行います。

種類	ボイス内容
N システム NH システム	※ () 内の言葉は、高速上の N システム / NH システム警報時にアナウンスします。 効果音 この先 (高速道路上 / 一般道路上) N システムがあります。

※ GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。

警報について

■チェックポイント警報（トラップポイント info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

速度取締りを中心に頻繁に行われているエリアや過去に取締りの事例があるエリアが予め本機に登録しており、チェックポイントに接近すると高速道路上では約 1km 手前、一般道路上では約 500m 手前で注意をお知らせし、離れば回避をお知らせします。

状況	ボイス内容	前面警報ランプ
接近した場合	効果音 チェックポイントに接近 ご注意ください	早い橙点滅
回避した場合	効果音 チェックポイントを 回避しました。	点滅

■駐車監視エリア警報（駐車監視エリア info）

※ 衛星を受信中のみ作動する警報です。

平成 21 年 4 月に各警察より発表がありました「最重点地域」、「重点地域」を基に弊社調査による監視（駐禁）エリアが登録されています。監視エリア付近に接近すると、お知らせします。

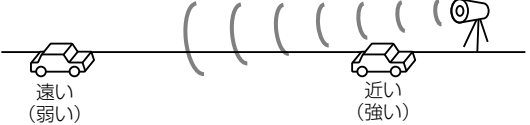
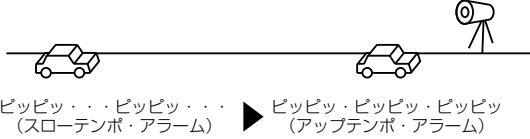
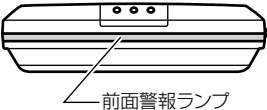
ボイス内容
効果音、駐車監視エリアです。

※ 駐車監視エリア内を走行中は TEST/MUTE スイッチに黄ランプが点灯します。

⚠ 注意
弊社調査による監視エリアを登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。 <ul style="list-style-type: none">・ 全ての監視エリアで警報するわけではありません。・ 実際の監視エリアと異なるエリアで警報することがあります。

レーダー

レーダー式取締り機に接近した場合、下記のように警報を行います。

レーダー式取締り機迄の距離（電波の強さ）			
前面警報ランプ（赤）		遅い点滅	速い点滅
アラーム音	受信感度	LOW (50km未満)	アラームが鳴らない
	HI (50km以上)	アラームが鳴る	
ステップアラームのタイミング			
ステルス波受信		前面警報ランプが赤色に点滅しアラーム音で警報しません。	

※ レーダー警報中の場合でも、GPS 警報、無線警報（カーロケ、350.1MHz）を優先して行います。

■カーロケ受信警報

●カー・ロケーター・システムとは…

「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備された GPS 受信機より算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



現在、緊急車両の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部に送信するカー・ロケーターシステムを装備しています。

本製品は、各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

⚠ 注意

- ・カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
- ・送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信することがあります。

※ カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。現在、受信できる地域であっても、新システムの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承ください。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

◇カーロケ電波の状況によって遠近識別警報を行います。

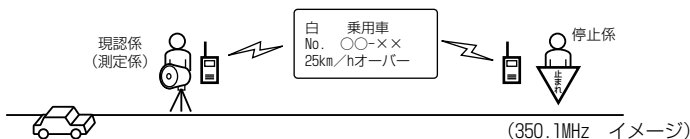
◇カーロケ無線受信状況 「ボイス内容」	前面警報ランプ
◇弱いカーロケ電波を受信した場合 「効果音 カーロケ無線を受信しました。」	緑色 遅い点滅
◇突然強いカーロケ電波を受信した場合 「効果音 近くのカーロケ無線を受信しました 緊急車輛にご注意ください。」	緑色 早い点滅
◇一度、受信した電波より 30 秒以内に強いカーロケ 電波を受信した場合 「効果音 カーロケ無線を受信しました 緊急車輛の接近にご注意ください。」	緑色 早い点滅
◇一度、カーロケ電波を受信して、数分間受信 しなかった場合 「効果音 カーロケ無線を回避しました。」	緑色 遅い点滅

警報について

■取締り用連絡無線警報（350.1MHz）

●取締り連絡無線（350.1MHz）とは…

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。



ボイス内容	前面警報ランプ
効果音 350.1 無線を受信しました。	緑色 点滅

■パトロールエリア警報（パトロールエリア info）

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

※ 必ず検問、取締等を行っているとは限りません。

ボイス内容	前面警報ランプ
効果音、パトロールエリアです ご注意ください。	緑色 点滅

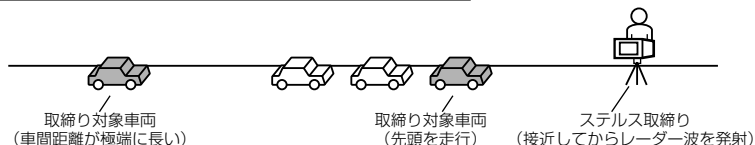
取締りの種類と方法

レーダー式の取締り

代表的なレーダー式取締りについての説明。

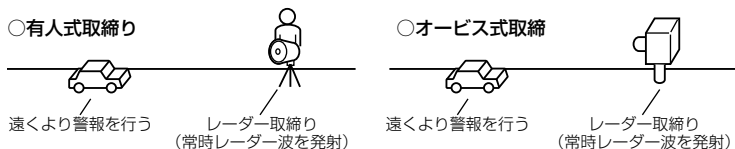
◇ステルス式取締り方法（有人式取締り）

取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。**走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかつたり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。**



◇レーダー式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



◇新Hシステム式取締り方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



取締りの種類と方法

◇移動オービス式／パトカー車載式

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

■レーダー式以外の取締り

代表的なレーダー式以外の取締りについての説明。

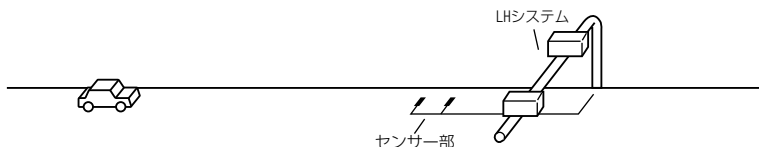
◇ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



◇LHシステム式取締り方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでした。本製品では位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



取締りの種類と方法

◇光電管式取締方法（有人式取締り）

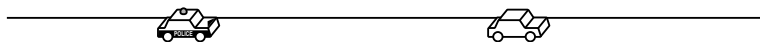
2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。

○有人式取締り



◇追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。



※ 光電管式取締方法（有人式取締り）及び追尾式取締り方法はレーザー波を発射しないタイプの取締り方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締方法に関しては本製品のチェックポイントに登録されている地点（P18）であればGPS警報を行います。）

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●シガープラグコードが断線していませんか？	5 ページ
	●シガープラグコードのヒューズは切れていませんか？	5 ページ
	●シガープラグコードが正しく取り付けられていますか？	10 ページ
	●車両シガーソケットを分岐していませんか？	3 ページ
GPS 衛星を受信しない	●フロントガラスが断熱ガラス等ではありませんか？	3 ページ
	●本体は正しく取り付けられていますか？	8 ページ
	●周辺に電波を遮断する物はありませんか？	8 ページ
警報をしない	●音量は正しく設定してありますか？	11 ページ
	●ASC 機能が作動していませんか？	12 ページ
	●LSC 機能が作動していませんか？	12 ページ
GPS 警報をしない場合	●周辺に電波を遮断する物はありませんか？	8 ページ
	●反対（対向）車線上のオービスではありませんか？	15 ページ
	●オービス・N システム以外の取締り機ではありませんか？	15～17ページ
	●新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？	15～17ページ
レーダー警報をしない場合	●レーダー式以外の取締りではありませんか？	24.25 ページ
無線警報をしない場合	●新型のカー・ロケーター・システムが配備されている地域では本製品でカーロケ無線を受信・警報することはできません。	20 ページ

製品仕様

電源電圧	DC12V 専用	受信方式	パラレル 16ch ダブルスーパーヘテロダイン
消費電流	120mA以下(USB使用時は除く)	測位更新時間	最短 1 秒
最大消費電流	200mA以下(USB使用時は除く)	検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式
USB 電源	5v・300mA 以下	動作温度範囲	-10℃～60℃
受信周波数	・GPS (1575.42MHz)	本体サイズ	92.5(W) × 63.5(L) × 24(H)/mm (突起物は除く)
	・Xバンド (10.525GHz)		
	・Kバンド (24.200GHz)	重量	80 g
	・取締り用連絡無線 (350.1MHz 帯)		
	・カー・ロケーター・システム (407MHz 帯)		

※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。